

第126号

発行 烏羽市議会 平成21年2月1日

とば市議会だより

ホームページアドレス <http://www.city.toba.mie.jp/gikai/gikaiindex.htm> 電子メールアドレス gikai@city.toba.mie.jp



待ちに待った新校舎!!
鳥羽小学校 堅神町に完成

第4回 定例会(12月3日～12月24日)

一般質問

年4回の定例会と臨時会の本会議を録画放送



尾崎幹

20年11月と12月、鳥羽元気再生事業の第一回目の実証実験が実施された。100%国費である、この事業を起爆剤として鳥羽市は、何がなんでも国際観光文化都市として再生し、活性化しなければならない。この実証実験には海の駅構想に730万円、ライトアップ等の事業に1650万円もの金額が費やされた。しかし、その内容は甚だ費用対効果に疑問が持たれるものであり、観光関係者他、各関係者等から非常に厳しい指摘をいたしている。この素案を提案している伊勢志摩さいこう会の役割は、一体どの

「透明性のある再生を」企画財政課長 一層連携を強化します

よつなものか。この団体を含む協議会の各団体の連携、話合いや調整に問題はないか。

企画財政課長 協議会の理事でもあるNPO法人伊勢志摩さいこう会は、東京に事務所のある法人で、内閣府との連携調整をとっています。この事業の原案もいただいたが、行政の知恵や、商工会議所のノウハウを入れながら修正を加え地域性を考えて内閣府に提案しました。ご承知のとおり、鳥羽元気再生事業推進協議会の最高責任者、会長は鳥羽商工会議所の会頭であります。しかし、商工会議所のなかで詳細な事業までは会長の決裁はとっていないと推測します。

「鳥羽市の経済対策は」

市長 重要施策として検討・推進します



木村 幸夫

現在の日本は原油高騰で始まり工業資材、食料用の原材料の値上がりで苦しみ、各国の金融危機で日本経済が悪化する中、鳥羽市民の暮らしを守るためにの対策が急務と考え、農業、漁業振興策に絞り次点を問う。

①地産地消の進捗状況は、水産研究所を充実する考えは。

③産地市場建設の考えは。

水産振興のため活動をしてきました。水産振興にと認識しており、関係者の意見を聞きながら検討を進めます。

「猪・鹿・猿の被害対策は」

農水商工観光課長
交付金を受けて被害の削減に取り組みます

農水商工観光課長 国か
つ交付金を受け、ワナの購入や啓発に取り組みます。電気柵は、補助要件の緩和について検討します。ワナや網による捕獲免許の取得は、受講料の補助があり、比較的容易に取得することができます。今年は鳥羽市では7

最近は猪などの被害で農作物が作れない状況であるが、市民の食生活を守るため次の点を問う。
①国や県の補助で駆除対策はないか。
②短期の講習で捕獲免許が取得できるのか。

「不況緊急対策を」

市長 苦境から市民を守る施策を実行します

市長 市民が年を越せないことがあつてはならぬい。ご提案の内容を担当部局がしっかりとやるように指示したい。

市内各界を調査しました。景気悪化はどこも深刻です。行政の可能な応援策を待望しています。

市長に4点の実行策を提案します。1、「産業振興審議会」をすぐ機能させる。2、市長と管理職が業界の声を聞く。3、産業振興条例をつくり中小零細企業と業界を励ます。4、行政あげて特産品をPRする一いかがでしょうか。



戸上 幸子

「花嫁・子育て支援を」

市長 新しい施策を打出したい

企画財政課長 花嫁事業枠を拡大したい。
健康福祉課長 子育て力アップブックをつくる。
市民課長 無保険の子どもは12月中に対応したい。



鳥羽の宝物ー子どもたち

「来期の市長選出馬の考えは」

市長 来期も任せていいただきたい

平成17年4月に初当選 市長 生まれ育った「ふるさと鳥羽」をもっと自慢できる鳥羽にし、真珠のように「小さくても輝く鳥羽」を創っていきたく。そのために今後においても、アイディアを出し合い、プラス思考で引き続き2期目の市政を担当したいと決意している。

市長 就任以前からの懸案事項を解決する事に精力の大半を傾けてきたと感じている。特に鳥羽志勢クリーンセンターの建設と鳥羽小学校建設を中心にしてきた。他に集中改革プランを策定し、44名の人員削減により毎年1億5000万円の人員費の削減、入湯税の導入による1億9000万円の増収、とばつ子カードでの子育て支援施策、高速船就航による利便性の向上と経営改善等がある。

市長 就任以前からの懸案事項を解決する事に精力の大半を傾けてきたと感じている。特に鳥羽志勢クリーンセンターの建設と鳥羽小学校建設を中心にしてきた。他に集中改

革プランを策定し、44名の人員削減により毎年1億5000万円の人員費の削減、入湯税の導入による1億9000万円の増収、とばつ子カードでの子育て支援施策、高速船就航による利便性の向上と経営改善等がある。

市長 就任以前からの懸案事項を解決する事に精力の大半を傾けてきたと感じている。特に鳥羽志勢クリーンセンターの建設と鳥羽小学校建設を中心にしてきた。他に集中改

革プランを策定し、44名の人員削減により毎年1億5000万円の人員費の削減、入湯税の導入による1億9000万円の増収、とばつ子カードでの子育て支援施策、高速船就航による利便性の向上と経営改善等がある。

市長 就任以前からの懸案事項を解決する事に精力の大半を傾けてきたと感じている。特に鳥羽志勢クリーンセンターの建設と鳥羽小学校建設を中心にしてきた。他に集中改



野村保夫



坂倉広子

「安心な長寿社会づくりを」

健康福祉課長 高齢者世帯への対応が最も重要

少子高齢化とともに日本は世界有数の長寿国であります。すべてのお年寄りにとって、また社会にとって長生きが幸せだと言える高齢社会、すなわち幸せに年齢を重ねる「幸齢社会」を築いてまいりたいと思います。第4次鳥羽市総合計画によりますと、平成18年65歳以上の人口は6180人、人口に対する高齢化率は25・8%、平成20年6426人、高齢化率28・1%となっています。そこで、介護体制、介護サービス予防、介護相談窓口のPRなど、本市の取り組みをききます。

健康福祉課長 介護体制については、介護サービス、高齢者向けの介護予防生活支え合い事業、配食サービス、移送サービス等の事業を提供していくとともに、高齢対策係や介護保険係の充実を図り、相談業務等の一層の充実に努めていきたいと考えています。介護サービス予防は平成18年度に地域包括支援センターを保健福祉センターひまり内に設置し、介護予防事業を展開しています。介護相談窓口については、地域包括支援センターが総合的な介護相談の窓口となっていますが、同センターの名称になじみが薄く、高齢者の相談窓口であることを知らない市民もあり、広報とば等でPRしているところです。

「市営定期船航路の見直しは」

市長 離島住民の利便性を図ります



木下爲一

2隻目の高速船「かがやき」が21年3月に完成します。現在、地域公共交通会議で、運航計画の見直し、検討が進められていますが、離島住民が望む運航ダイヤへの今後の方針をお聞かせください。

市長 21年度の運航体制について、当初計画では、高級船の就航に合わせ和具港の浮き桟橋の建設を進めることで、5隻体制としていましたが、現在、和具港の浮き桟橋が完成していない状況下、21年度は現行の6隻体制で運航することとしています。運航経費は、地域公共交通活性化・再生事業の補助事業の中で、実証運航する経費に対し2分の1の補助が受けられるので、利用客のみなさんに、その費用負担増をお願いすることにはならないと考

えています。和具桟橋の完成後には、循環便の想定、効率的な運航ダイヤ組みで5隻体制で臨みたい。佐田浜ターミナル完成後は、佐田浜港を基点とする運航体系を考え

えていきます。和具桟橋の完成後には、循環便の想定、効率的な運航ダイヤ組みで5隻体制で臨みたい。佐田浜ターミナル完成後は、佐田浜港を基点とする運航体系を考えています。和具桟橋の完成後には、循環便の想定、効率的な運航ダイヤ組みで5隻体制で臨みたい。佐田浜ターミナル完



パールロードから観た『潮騒海域、

「市長の観光振興策の目玉は」

市長 「アクションプログラム」で



山本泰秋

市長の観光振興策の目玉は、
市長 「アクションプログラム」で

本市の活性化施策として①「観光振興策について」と②「ミニユーティバスの導入について」の2つの視点で質問をしました。

①本市の最重要施策である「観光振興策」の市長の目玉は何か。また、観光鳥羽の魅力は「食と景観」。特に「食」は、伊勢志摩を訪れる観光客の第一の目的であり、全国有数に美味しい『潮騒海域』(伊勢湾口)の魚介類を観光客の口に届けること

が、観光振興の力ぎを握っている。産地総合市場(仮称)等を建設し、観光客を消費者にした「地産地消システム」を構築する考えはないですか。

市長 「地域公共交通会議」の中で、意見を参考に検討します。

「国調事務のスピード化を」

市長 重要性を認識し図ります

建設課長 15年6月議会
で答弁した計画どおりに
進んでおらず申し訳ない。
今後は、土地の高度利用
を見込まれるような地域
を優先して、次期長期計
画を定めていきたい。

市長 国調事務の重要性
を認識しスピード化を図
つていただきたい。



村山俊幸

国土地籍調査は、市保
有土地の有効活用、観光
業・農林業の発展、個人
所有土地の確定による市
の財源増等が見込めるこ
とから、当初計画より遅
れている国調事務の迅速
化と体制強化をどのように
を考えているのか。

「開発公社の経営改善は」

市長 改善策を検討したい

市が100%出資する
開発公社の赤字体質脱却
のために、また今回3名
の退職者が予定されるこ
とから、かき殻加工事業
の民間譲渡を考えられな
いか。その他の事業につ
いては市が直接管理し、
公社職員の市採用や、公
社の清算も視野に入れる
べきと考えるが、市の健
全運営の改善策をきく。

副市長 開発公社の解散
には、借入金の精算、収
益事業の継続、工業団地
の土壤問題、職員の雇用
問題など様々な問題点を
整理する必要がある。し
かしながら、市と表裏一
体となっていることから、
公社の今後のあり方を検
討していきたい。

市長 今までの経緯、職
員の立場を考えながら真
剣に検討したい。

「活性化させる施策の継続を」

本年度実施した御木本

市長 今回の事業を通じ

教育委員長 御木本幸吉

幸吉生誕150周年事業
が、将来の観光振興、ま
ちおこしに繋がるもので
なければなりません。本
事業を契機にして、さら
なる幸吉翁に視点を当
た工夫と本市のまちづくり
が生んだ感動の中から地
域に対する誇りを醸成で
きたと思います。この事

業がさまざま形で取り
組んでいく、笑顔と感動
に出会う鳥羽づくりのさ
らなる進展の契機になる
ことを信じています。

けでなく鳥羽市にゆかり
のある多くの偉人につい
ても、その足跡を通して
鳥羽の文化や歴史を学び
ながら、鳥羽の魅力を子
どもたちに伝えていく教
育を実践するよう努めて
いきたいと考えています。



寺本春夫

策プロジェクトを設置し、検討しました。その結果、

コミュニティバス運行を

実施しました。一定区間を均一運賃にしたり、遠

距離児童・生徒の輸送を行ったため、登校・下校時

間に合わせたダイヤ編成や市役所など市街地を循環する路線、土・日祝日のみ観光地を周遊する路線などの取組みを行っています。その後、意見交

換、質疑を行いました。

奈良市では、次の説明

がありました。

電話等による市税催告業務の民間委託の取組みを行なっています。市税

現を図るため、初期催告

である電話による納付の呼びかけ等を民間の専門

家に担わせ、官と民の協

力による収納率向上を目指しています。

定期航路事業会計

優先した中で、改修も認めてもらえる内容である。

今回の事業は補強を

されることもあるので、今後検証していきたい。

(歳出・教育費)

審査の主な内容は、次のとおりです。

年度は今年度より多めに予算要求しており、今後も重視していくべき

年度は今年度よりも増加した。来

年件数が増加した。来

年の件数がどれか。

申請実績は毎年下がつてきたが、今年度は新築の件数が予想以上に多

かったことと、市民の環

境意識が向上したことでも異なり、また予算的な

が異なり、また予算的な

答 自然条件により想定

答 今回の事業は補強を

認められる内容である。

定期航路事業会計

優先した中で、改修も認

めてもらえる内容である。

今回の事業は補強を

認められる内容である。

この議会で審議した案件と結果

請願

- 自主的な共済制度を新保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求める請願

採択

- 自主的な共済制度を新保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求める請願

意見書

次の意見書を国会及び関係行政庁へ送りました。

- 自動的な共済制度を新保険業法の適用除外とすることを求める意見

書

文教産業委員会

「向上する環境意識」

審査の主な内容は、次のとおりです。

(歳出・衛生費)

年度は今年度より多めに予算要求しており、今後も重視していくべき

年度は今年度よりも増加した。来年件数が増加した。来

年の件数がどれか。

申請実績は毎年下がつてきたが、今年度は新築の件数が予想以上に多

かったことと、市民の環

境意識が向上したことでも異なり、また予算的な

が異なり、また予算的な

答 今回の事業は補強を

認められる内容である。

定期航路事業会計

優先した中で、改修も認

めてもらえる内容である。

今回の事業は補強を

認められる内容である。

定期航路事業会計